

日々新聞

いづも新入と申せば情死盗賊密夫  
欠落と美筆ハツも有ませぬわ(此者も  
心配いし)まゝ今日へ珍らしい自安を  
出しおられた是は備中淡口郡の長尾村  
小野亀吉此後家おとす今年二十と  
八才あり十六才小亀吉嫁ありてか  
子を明治二年に産まゝ一十九共時分  
塩吉の癩病とらふ症あり日々有るも  
心いくさぬお春の自實ハ乳呑子かへて  
髪を結ひころりの賃錢ハ細烟り探と  
共小立る身不便と思ひ父母離別せ  
よその進むれ之道を尋てうけひるは  
日を送りし去年の秋夫亀吉死にたれ  
又りや再縁もくめても此幼子か夫のかみ此子に  
家名をつがせぬ何面目に冥土のあつと小見んぞと  
哭して得心せらるは是れ心養入あるが金

西後堂九化池



西後堂

目上又梅  
歌九一

